

向山小学校のESD活動

<活動の概要>

- ・地域の「ひと」「もの」「こと」との関わりの中でESD学習を深めることで、児童が課題を自分事としてとらえ、身近な問題について探求していく中で、自分ができることを考え、行動する力を育てることができると考えて次の実践を行った。

・活動の実際

① 「自然のプレゼント ～ぼくたちムカイヤママスター～」(3年生)

3年生が、校区内にある梅林公園へ出かけて梅取りを行った。その際、豊橋市役所職員の方々の協力をいただき、安全に安心して梅取りができた。後日、栄養教諭や温室園芸組合の赤しそ農家の方々の指導のもと、大量の梅を使って、「梅干し」づくりを行った。地域の素材を使って活動を行ったことで、地域の自然への感謝の気持ちが高まり、どの子どもの顔にも笑顔があふれていた。



【梅干しづくりに夢中に取り組む児童】

② 防災について考えよう(4年)

総合的な学習で、向山校区や学校内の防災施設について調査活動を行った。インターネットや書籍を利用したり、現地調査をしたりして、情報収集を行い、防災について関心をもち、自分の生活を見直し、防災に関する意識を高めた。また、自分たちが調べた内容を踏まえ、自分の防災への思いを総合の学習の時間にまとめ発表した。



【地域の防災設備を調査する児童】

③環境と福祉 ～SDGsでよりよいまちに～(5年)

「SDGs」や「地球温暖化」などの環境問題について興味をもち、出前講座や調べ学習で学習した子どもたちは、野外教育活動の中で環境を守るために自分たちにできることはないか考え、「エコ野外」を計画した。班ごとに活動場面を想起しながら、具体的な考えを出し、エコへの意識を高めた。実際の活動では、残食を減らす、部屋の節電や洗い物の時の節水、ごみの分別などを実践した。最後に活動内容を新聞にまとめ、環境にやさしい生活をしようという思いをもった。



【節水を意識して洗い物をする児童】